

「広報」



ちくづみ



2014

5

vol.198

- 2 平成26年度施政方針・議会だより
- 10 平成26年度一般会計当初予算
- 11 知夫村行政機構図
- 12 入学・卒業おめでとう／ありがとうございました
- 13 結婚披露宴
- 14 観光振興課だより／知夫村ボランティアセンター
- 15 島を担う／戸籍コーナー
- 16 島おこし協力隊員・知夫里島観光協会職員募集／行事予定

小さな島 みなファミリー 知夫里島

徳田久志君と美由起さん
ボートを据え置いた仲間たち



村長所信表明並びに

提出理由説明要旨



I、はじめに

本日平成26年3月定例議会の開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、村政運営の考え方と平成26年度の主要な施策の概要等について申し述べさせていただきます。

II、村政運営

ご存知のように、昨年7月に行われた参議院選挙では、自民党が大勝利を治め、自公連立による安定政権が発足し、大胆な経済対策や大規模な金融緩和措置の実行等により、景気は回復基調にあると言われていますが、TPPの導入や消費税増税を控え、地方経済の景気は好転の兆しも見えず、先行きは全く不透明であり、雇用情勢等諸課

題は山積している状況にあります。このことから、衆参議員会館等には全国の市町村や各種団体等からの要望活動が激化しており、私も全国町村長会や全国離島振興協議会及び港湾や治水砂防協議会等並びに島根県過疎地域対策協議会の一員として、政府や地元選出国会議員並びに関係国会議員等に対し、要望活動を行ってきたところであります。

その中において、全国町村長会では道州制導入の反対や地方交付税の総額確保等を、全国離島振興協議会では離島航路運賃の低廉化や、定住促進及び各種補助枠の確保や嵩上げ、並びに普通交付税の離島嵩上げや人口補正の見直しを、島根県過疎地域対策協議会では過疎債総枠及びソフト枠の拡大と貸付基準の緩和等を要望してきたわけですが、いずれも早い所での好結論を求めることは困難な状況のようであります。

III、平成26年度主要施策概要

1、「生きがいづくり」について

ただ今の知夫村は「健康で和やかで誰もが安心して暮らせる島、そして活力ある島づくり」を目指して、いただけるものは何でも、又少しでも多くの財源確保に努め、将来を見据えた各種施策を効果的且つ効率的な執行に心掛けながら、公平で思いやりとスピード感を持って積極的に実行に移しているところであります。各種定住施策を行っていく上に於いて、今、知夫に住んでいる村民の皆様が、健康で明るい生活を送っていなければ島外から来た人も、とても馴染んでいけないという考えの元、各地区の集会所を利用

して婦人の方々を中心としたボランティアにより、地区住民の皆様が声掛けしていただき、楽しみながらの健康作りと情報交換の場を作っていくことについては、昨年の4月から7地区それぞれに健康推進クラブが命名発足し、約月1回のペースではあります。が軽い運動やストレッチ、ゲームに歌に踊りにお茶会、又、遠足等も実施し



ふれあい広場にて

て参加者からはかなりの好評価を得ているようでありますので、この会が完全に定着し、更なる参加者の増加と健康が実感できる形となってくれるよう補助の継続と必要であれば人的支援も行っていく考えであります。

又、知夫村健康でたのしい村づくり推進協議会が策定している、第2次健康長寿ちぶ推進計画の各種行動目標に向けた活動の実践と食育推進計画の実践にも強力に取り組んでいく考えであります。

2、「公民館活用」について

昨年の施政方針で述べました、平成27年度を目的に開発センターを以前のように公民館として活用していくことについては、子供達の学びに向かう意欲向上と学力向上、並びにふるさと愛ときめ細かな支援等を目標に、昨年から教育委員会を中心に検討してきた、保小中一貫教育制度を今年度より段階的に実施に移して行く予定とされていますが、次年度以降に本格的な実施の形が整えば学校に複数の余剰教室ができるので、これらを教育委員会事務所及び公民館として活用していくことで、経費の削減と高齢者を中心とした生きがい作り教室等の開催により、大人と子供との交流機会が拡

大し、その延長線上に於いて知夫里島大好き人間の育成も見込まれるのではないかと考え、公民館については、学校の積極的活用の方針を変更したいと考えるところであります。

又、島前高校の魅力化と永遠の発展の会が取り組んでいる島前高校新魅力化構想が形を成していけば、田舎大好き人間育成の相乗効果が図れるものと期待するところであります。

これらのことが、近い将来には健康増進による診療費の抑制や、更なる長寿社会を望んでいけるものと目論むとともに、将来は必ず知夫に帰って来て知夫の未来を担っていつてくれる、ふるさと大好き人間づくりも併せて取組んでいく考えであります。

3、「招福苑」の老人ホーム化について

高齢者福祉センター「招福苑」の一部老人ホーム化については、今年度に於いて改修工事に取り掛かり、完了次第入所を希望する介護度の高い高齢者を入所させていきたいと考えております。このことにより少しでも早く、高齢者の方、或いは高齢者を抱える家族の方々の安心と、要介護者等の人口流出に歯止めをかけることが出来るものと考えております。

4、「定住支援」について

昨年4月から若年層の人口増加を図る施策として、結婚祝い金支給及び子育て支援奨励金を制度化するとともに、出産育児奨励金制度も改正しましたが、何とか25年度内に結婚祝い金及び出産育児奨励金支給対象者が、1組ずつでも出来たことは大変喜ばしいことであります。そして、U・Iターン者に対する住宅改修支援や産業定着者生活支援事業については引き続き実施していき、来居大谷地区にもなく完成する定住者向け住宅や空き家対策事業等と、産業の創出による雇用対策を絡めたもので、定住人口の拡大を図っていく考えであります。

5、「水産業」について

水産業の現状であります。このところ燃油価格はどんどん高騰し続け、魚価は低落したまま、まったく復活の兆しが見えない状況であります。又、漁獲量についても磯焼けや温暖化の影響からか、根付魚貝の資源量の減少が顕著であるとともに、回遊魚についても魚種が変わったり、資源量そのものも減少し従来のかなぎ漁や刺し網漁だけで家族を養っていくことは大

変至難なことであると予想されるところであります。頼みの綱のヨコワ釣り漁についても昨年は幾らか良かったものの、これまでの実績からみると年ごとに変動が大きく安定して望めない状況であります。更には、漁業者の高齢化も相俟って漁業生産額及び従事者数は減少傾向にあり、船の購入や改造に対する貸付金制度や新規着業者に対する補助金制度等はあるものの、現在の厳しい状況の中で、新規漁業者や後継者を望んでいくことはかなり厳しいことと思うところであります。

そこで、今年度からはまず魚価の向上を目指して、岩ガキやアワビ、並びに、これまでほとんど金にならなかつた低価格魚等を中心に関東を拠点に



ワカメ

展開するチェーン店に直接出荷を試みる予定としています。又、近隣の加工業者にサザエを直接販売して、収益の増加を図っていく考えであります。そして、昨年から国と村がそれぞれ1／3ずつを負担し、漁獲物の海上輸送費を軽減していくことについては、今年度も継続実施し漁業者の負担軽減を図ってまいります。

更には、企業との連携により形が形成された、板ワカメ生産と並行して、今年からは天然生ワカメの冷凍出荷にも挑戦していただき、関係漁業者数並びに漁業生産額の増加を図るとともに、企業が加工生産する自然豊かな知夫のおいしい天然もの海産物を、全国にアピールしていただくよう動きだしたところでもあります。又、早期の成果を望むことは出来ませんが、魚貝の生息環境の向上に併せて資源量の増加を図るため、離島漁業再生交付金等を使い藻場の造成と併せてアワビや赤水等といった高級食材の稚貝稚魚の放流を今年度も継続実施していく考えであります。

そして、多沢地区にあるJFの燃油タンクの内、あまりにも小型過ぎてタンカーでの給油はもろろんのこと、タンクローリーでの給油もままならず頻繁に漁業者に迷惑を掛けている軽油タンクを大型化し、タンカーでの給

油とすることで軽油価格の低廉化と安定供給を図っていく考えであります。これらの施策が定着拡大していけば、漁業生産額の増加と安定が望め、結果、後継者や新規着業者の確保も望めるようになるかと考えるところであります。又、企業との連携強化により、知夫里島産の漁獲物及び水産加工製品を全国的に販売展開していただくことで、知夫村のPRにつながり、新たな可能性が生まれてくればと期待するところであります。

6、「畜産業」について

畜産業の現状であります。知夫での子牛販売実績は出荷頭数が313頭であり、出荷総額が1億2千5百



牛昼ごはん

万円、年間の1頭平均価格が40万を超えたことで安定した産業として若手生産農家を中心となり増頭に意欲を燃やしているところであります。一方で生産者の高齢化による農家数の減少も進んでいる現状であります。そこで、この販売価格のいい時期に、放牧環境を整えていくことで更なる増頭と生産コストの低下が望めるようになり、そして総収益の増加と収益率が向上していくことで後継者や新規着業者も見込むことが出来ると考えるところであります。

7、「牧野環境整備事業」について

牧野環境整備事業の内容としては、仁夫地区奥から古海地区間にかけて、県営事業により中牧の基幹道路をふるさと農道事業で整備するとともに、村が行う畜産公共事業等により、取付道路や草地整備及び必要関連施設の整備を順次実施していき、出来るだけ早くに中牧の利用価値向上を図っていく予定としています。

更には、公共放牧場からの逃走による一般家庭菜園等への被害を目に見える形で防止していくことはもちろんのこと、行方不明や崖落ちも徹底して減少させていくことで、増頭につな



山本進さんの牧場

がり結果、出荷頭数及び生産額も増やしていくことが出来るので、草地造成と併せた牧柵整備等を強化継続しながら農家と村が一体となって牧野管理を徹底していく考えであります。又、堆肥舎を整備して、冬飼時や市場前飼育時等に牛舎から出る糞尿と道路の草刈りや集落周辺の竹木除去等で発生する不要材をチップ化し混ぜ合わせて、良質な堆肥作りをして、村民の皆様で使用していただくことで、家庭菜園で出来る野菜の発育向上や富栄養化を望むことが出来ると考えています。併せて、牛舎周りの衛生状態の改善から、病気発生原因の減少及び集落付近や村道周辺の環境改善も図ることが出来ると考えるところであります。又、牛だけでなく、人にも

病気発生への恐れがあるマダニについて、家畜用薬剤の購入補助をし、ダニ駆除を徹底して継続強化していくことで、病気発生原因の減少及び受胎率向上や市場価格の向上にもつながっていくものと考えるところであります。併せて観光地等のダニ撲滅にも取り組んでいく考えであります。

8、「観光業」について

観光業の現状ではありますが、知夫の宿泊施設は最盛期には旅館、民宿、ユースホテルで20数軒あったものが、入込客数の減少や経営者の高齢化等により廃業者が増え、今は3セクで運営するホテルとログハウス及び民間の民宿が3軒のみとなっているところでもあります。これは元々村が、探索型や遊興型及び体験型にあまりシフトしてこなかったことから、釣り客以外のほとんどのお客が、赤禿山と赤壁等を見て帰ってしまう通過型となっていることが主な原因ではないかと考えられるところであります。昨年9月に隠岐ジオパークが世界認定を受けたことで、今後入込客の多様化と増加が見込まれると予想されるので、まずは知夫里島観光協会の体制を強化していくとともに、ジオガイドの養成や、既存観光地等の魅力向上及び探索

型への移行も考慮した新たな観光スポットの開拓も並行して進めていく考えであります。そして、徐々に遊興型や体験型等へのシフト変更にも併せて、民間主導による取り組みリーダーの開拓育成と宿泊キャバの増加にも力を入れていく必要があると考えるところであります。

又、この4月から、隠岐世界ジオパーク推進協議会の形を世界ブランドを有効に活用していくこと、及び再認定に向けて維持強化するための方策として、隠岐支庁県民局観光部門と4カ町村による推進協議会、並びに隠岐島観光協会を隠岐支庁の同一事務所内に置き、広域的な観光誘客促進活動の相乗効果を図るとともに、事務効率化や島民への啓発及び子供達へのふるさと教育も強化していく予定であります。その中において現在隠岐世界ジオパーク推進協議会に出向中の村職員については、今年度も引き続き出向させ体制強化の一役を担わせる予定であります。

9、「安心安全で快適な環境作り」について

①インターネット情報通信について
村の超高速通信については、県内唯一知夫村だけが未整備でありまし

たが、昨年8月に、国から派遣していただいたICTマネージャーと、役場の総務課及び若手職員を中心としたメンバー並びにオブザーバーとして、中国総合通信局や県の情報政策課も交えたもので、知夫村情報通信利用環境整備推進計画策定委員会を立ち上げ、1月末まで各種検討をした結果、今年度に於いて整備に着手することに決定しました。完了後は、テレビを通じて高齢者にも優しい各種情報の発信やテレビ受信機能の向上、或いは、インターネット等を利用して医療・介護・福祉や教育等に大いに役立ていく考えであります。

②村内運行バスについて

昨年の7月から宿バスに変わり、開始した朝の村営バスの運行については、今年度も職員により継続実施していきます、次年度までには今後に向けた運行体制等について決定していく考えであります。

③村内安全整備について

津波等が発生した場合において、瞬時に警報が作動するJアラートや高さの表示板、ハザードマップ等については昨年度導入し、地区ごとに津波を想定した避難訓練を実施しましたが、今後は津波だけでなく、土砂災害等の

非常時に於いても、安全且つ速やかに村民の皆様が避難行動をとれるよう、訓練を継続実施していく考えであります。道路橋梁の維持修繕等については、昨年度実施した形により、橋梁修繕を緊急順位の高いものから順次、詳細調査と修繕を継続して行っております。又、ガードレールや側溝及び法面保護等の老朽化した施設についても同様に改修をまいります。更には、地区要望等のあった箇所についても、緊急順位の高いものから順次修繕等の対策工事を行っていく考えであります。集落内及び集落間に設置している街灯について、地区の負担軽減と省エネ及び住民の安全を安定確保していく考えの元、全ての器具をLEDの防犯灯に交換していく予定といたします。

④ゴミ焼却場及び海岸漂着ゴミについて

古海道路途中のゴミ焼却場については、本年度に於いて土地造成、並びに焼却炉と建物の整備をし、燃焼効率の改善による環境悪化の防止と、車両の長寿命化並びに家電及び缶、ビン等のリサイクル品の保管整理と併せた作業環境の改善を図っていく考えであります。

又、海岸に打ちあがる漂着ゴミにつ

いては、時化の度に次から次と様々なゴミが漂着してきて島の印象を悪くするばかりか、環境悪化の原因にもなりますので今年度も昨年度と同様に春先の穏やかな時期から着手して、島全体の海岸をきれいにしていく考えであります。

⑤大江集会所新築について

大江集会所の新築については、昨年度に於いて敷地造成を終えていますので、今年度中に建設をし大江区民の諸活動におおいに活用していただきたいと思っております。

⑥住環境整備について

仁夫公営住宅の住環境整備として、建設当時からそのままで老朽化し、衛生状態にも問題が生じている台所の流し台等を新たなものに替えていく予定とされています。道路や集落付近にはびこる雑草や雑竹木は、昨年同様に順次伐採していき、生活環境の向上を図るとともに先ほど述べた堆肥に利用していく考えであります。

10、「職員採用」について

村職員の新規採用についてであります。この4月から不足していた土木設計技術系職員1名を採用し、島根

県建設技術センターにおいて1年間、設計全般と施工管理の实地研修を受けさせ、設計施工管理技術の底上げを図る予定とされています。

又、2名体制の確保ができていた保健師についてありますが、3月末で1名が急遽退職することとなった為、速やかに関係機関に新人等の紹介を仰いだところですが、今のところはまだ応募がありませんので引き続き公募を掛け随時受け付けていく考えであります。尚、当面は臨時職員での対応を予定しているところあります。

次に、職員等給与等についてであります。我村は平成15年度に職員給与で5%から最大で12%の削減に取り組みしましたが、その後、財政状況の好転等により少しずつ緩和してきており、昨年度に於いては3〜6%のカットで実施をしましたが、今年度は1〜5%のカットに緩和して実施していく予定であります。但し、議員、村長については従来通り20%、副村長は15%、教育長は10%の削減幅を堅持させていただきます。今後の地方交付税の動向や、本村の総合振興計画の執行等を考察しながら、検討していきたいと考えているところでございます。

11、県営事業及び広域事業の今後の予定等、村の意向も絡めた県及び広域連合の考え方。

○県営の漁港・港湾・道路等ハード事業について

知夫漁港郡岸壁から診療所前付近の、海面の静穏度を向上するため、大江尾崎防波堤を120m延伸していくことについては、漁業者から要望のあった係船タイプには、波除構造での整備を重視する観点から採用することは出来ませんが、消波と通水及び最も汚濁防止を考慮した工法で基本設計が固まり、本年度は厚い堆積土砂部分の地盤改良から着工していく予定であります。又、仁夫アパート裏、及び仁夫沖防波堤内側にある物揚場の維持補修については、主要構造物である海面下の矢板部分に防食処理を施し長寿命化を図っていく予定であります。

○水産振興対策について

知夫漁港の沖合に約2ヶ年掛けて大型漁礁を設置して、漁場の造成を図っていく予定であります。ただ、郡地内の漁港臨港道路のアスファルト舗装修繕については、昨年度に施工を予定していましたが、先に波返しや橋梁

に多数発生しているクラック補修を終えておく必要があります。手戻りを出さないため、これらの工事が終わるまでの1〜2年は現状のまま辛抱していただくようお願いするところであります。

○来居港フェリー乗り場改修について

昨年度に於いてフェリー及びフェリーどうせんの接岸岸壁改修の測量と基本設計が出来ており、本年度に於いて、実施設計と一部ケーソン製作に取り掛かる予定であります。併せて、エレベーターやギャングウェイ及び身障者用トイレ等を完備した新上屋についても、県営で整備していただくよう要望しているところであります。



来居港

○県道の改良について

県道の改良については、古海地区からも要望が出ていますが、古海側途中の見通しの悪いカーブが連なっており、交通事故の事例もある未改良部分を、突角改良によりカーブを減らした形で拡幅改修をしていく予定であります。又、多沢墓地の郡側及び薄毛小原山付近の道路の一部沈下箇所については、災害防除工事により安全対策を図っていく予定であります。

先にも述べましたが、仁夫奥の横尾付近から古海側に抜ける約1.8kmのふるさと農道整備については、線形の決定とともに路線測量に取り掛かっているとおりであり実施計画が入り次第、用地測量及び用地取得と登記事務を行い、その後、道路工事に着手して



道路拡張整備 多沢→薄毛

いく予定であります。併せて、村が事業主体により畜産公共事業をすすめ、中牧の有効利用促進を図っていく考えであります。

○内航船「いそかぜ」高速船「レインボージェット」について

広域事業、島前町村組合が運航する「内航船いそかぜ」については、4月より知夫の利用者の利便性を向上させるため、一部運航ダイヤの改正をいたします。又、村民の通勤、通学、病院等の海上交通の足として安定した運航がなされるよう強く働きかけてまいります。

隠岐広域連合事業として3月1日から隠岐汽船の指定管理により運行が開始された「レインボーII」と比較して、座席数が61席少ない256名の定員となりますが、波浪時の運航には強いことから、運航期間の延長と就航率の向上が見込まれ安定した島民の足及び世界ジオパーク認定を契機とした、観光振興にも大いに役立つものと期待しております。

又、運航に併せてクレジットカード決済は導入されたので、今後はインターネット予約等のサービス向上も図られるよう、推進していく予定であります。

12、平成25年度補正予算・平成26年度予算の概要について

平成26年度一般会計当初予算案の概要について説明いたします。

予算の総額は、19億7697万7千円で、前年度に対し6億4628万9千円、率にして48・6%の大幅な増額予算を計上しております。

歳出予算の内、主な実施事業及び予算計上額は、情報通信環境整備事業に4億5965万9千円、高齢者生活福祉センター改修整備事業に1億2134万5千円、焼却場整備事業に1億4133万6千円、燃油等補給施設整備事業に6083万5千円、大江集会所整備事業に3435万4千円、畜産基盤整備事業に2259万3千円、堆肥舎建設に430万円、道路橋梁修繕工事に1300万円、LED街灯整備工事に600万円、公営住宅環境整備に900万円等であり、負担金としては、消防等隠岐広域連合負担金に6412万7千円、島前内航船運航等負担金に3735万円、ふるさと農道整備負担金で1600万円等であります。

又、特別会計6事業会計に繰出金を1億3029万8千円計上しており、前年度予算より大幅な増額となりました。

理由については、光高速通信整備事業が一番主なものであり、あと招福苑の改修や焼却場整備及び軽油タンク整備といった大型事業の執行が重なったことによるものであります。

歳入予算の内、主な予算項目及び予算計上額は、普通及び特別地方交付税7億3609万8千円、実施事業の増加により国県支出金で2億6998万3千円、辺地債及び過疎債等の起債借入額で8億109万2千円であり、予算不足分4500万5千円については基金を取り崩して繰入金に計上しております。

以上、平成26年度の村政運営に関する所信と主要施策等の概要について、申し述べさせていただきますが、これらの実現に向けては職員ともども一丸となって、一生懸命取り組んでいく所存でありますので、議員の皆様や村民の皆様におかれましてはスムーズな村政運営と村発展のため、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成26年度の施政方針といたします。



26年新年度予算決まる



3月定例議会は3月10～13日まで開催されました。
提案された主な議案は25年度補正予算・26年度新年度予算・
条例改正等25件で全て可決・承認されました。
住民にとって身近な改正は次のとおりです。

主な条例の制定・改正

▽知夫村教育委員会委員の選任
教育委員に知夫村郡の 山 穂 さんが選任されました。

▽非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の改正
団員5年以上10年未満14万4千円↓20万円
10年以上15年未満21万4千円↓26万4千円
15年以上20年未満28万4千円↓33万4千円
20年以上25年未満35万9千円↓40万9千円
25年以上30年未満46万9千円↓51万9千円
その他詳しい事は担当者まで

村政を問う…一般質問

今回の議会で1名の議員から質問がありました。
質問、回答は要約してあります。
全記録は議会事務局にて公開いたします。



高田議員

問い

昨年には、隠岐が世界ジオパーク認定され今年度から観光客、交流客の増加が期待されるためありますが、対策のひとつとして観光協会の職員を2名体制にするよう準備をしておられるようですので効果的な運用を期待いたします。

ただいくら観光客が増えても、宿泊施設が不足しておりホテルの宿泊部屋の増築や、民宿業の開業の働きかけが大事だと思います。民宿開業に向けてUターン、イターン者に優遇措置、施設整備についての助成措置等必要だと思いますが。

村長

観光協会の職員補充による体制強化を図り、隠岐島観光協会との連携強



予算審議委員会

化と各種企画から集客、売店等の運営に力を入れたいと考えています。ホテルの増築等については、隠岐世界ジオパーク推進協等が行う誘客活動の効果がどの程度あるものか、又どのくらいの期間続くものなのかを慎重に見極めて決めたいと思います。

次に民宿の開業支援ですが、今後はスキューバーダイビングやイカ釣り、魚釣り、かなぎ漁等遊興型や、体験型への移行も絡めたもので民宿の開業を呼びかけていきたいと思いますが、支援については今のところ、U・Iターイン定住支援の範囲内で出来ればと考えております。但し状況によっては貸付金制度等の制定も考えていくつもりです。

議会補正予算、新年度予算審議にあたり議員8名が知夫村の現場等を視察しました。



古海集会所横の橋



一宮神社に公衆トイレが完成しました



ゴミ焼却場増築予定地

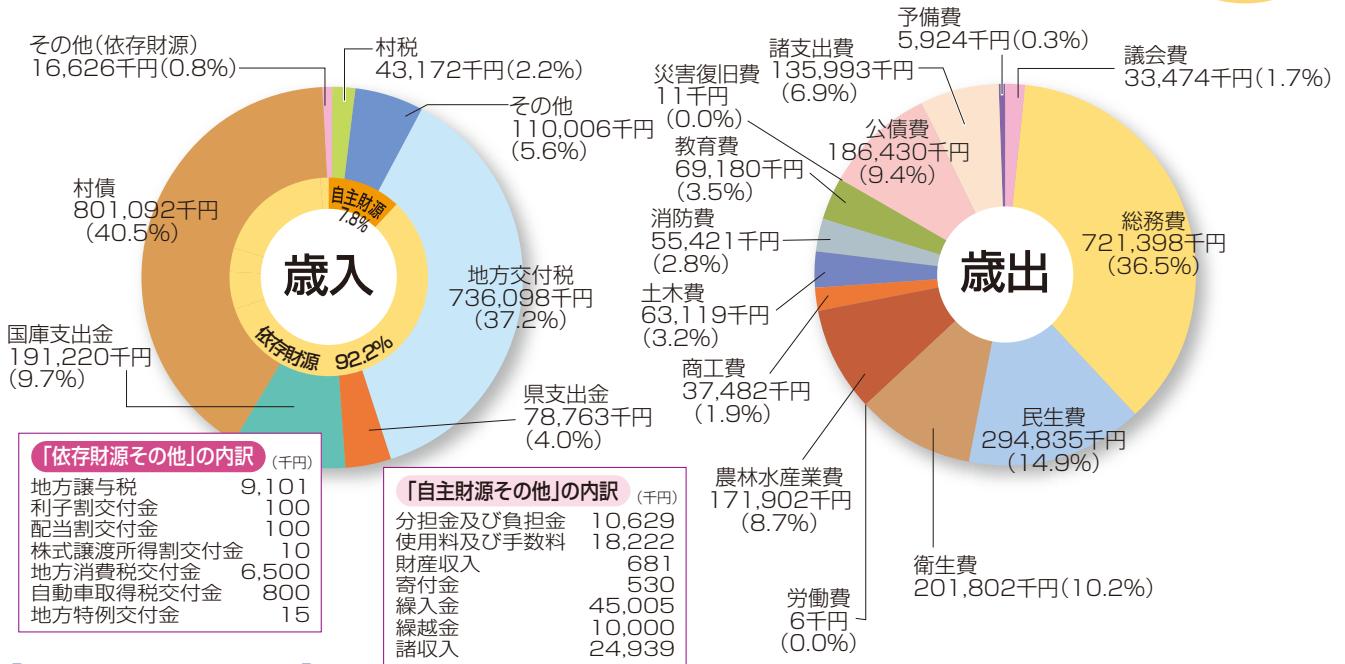


26年度大江集会所新築予定地

平成26年度一般会計予算 19億7697万7千円

昨年度より6億4628万9千円の増

●村民1人当たりの歳出予算額
337万3千円
●村民1人当たりの借金の返済額
318,192円
4月1日現在
人口 586人



【目的別の歳出内訳】

- 議会費 33,474千円**
議員・事務局職員人件費、議員共済費など
- 総務費 721,398千円**
一般・人事・財産管理・消防・企画・徴税・広報・選挙・統計・開発センター等
- 民生費 294,835千円**
社会福祉・高齢者社・国民年金・児童福祉・保育所・戸籍・乳幼児医療など
- 衛生費 201,802千円**
衛生総務・生活習慣病対策・母子保健・環境衛生・ゴミ処理・し尿処理など



特別会計	
国民健康保険特別会計	131,327千円
診療所事業特別会計	88,957
歯科診療所特別会計	26,261
後期高齢者医療特別会計	18,462
簡易水道特別会計	61,023
下水道特別会計	70,307
計	396,337

- 農林水産業費 171,902千円**
農業委員会・畜産・農業振興・林業・水産振興など
- 商工費 37,482千円**
商工振興・観光・公園・定住対策・地域おこし・事業創出など
- 土木費 63,119千円**
土木・道路新設改良・維持・河川管理・港湾管理・住宅など
- 消防費 55,421千円**
非常備消防・水防・消防施設維持など
- 教育費 69,180千円**
教育委員会・学校管理・教員住宅・社会教育・文化財保護・公民館など
- 公債費 186,430千円**
村債(借金)の元金・利子の返済・一時借入金利子など
- 労働費 6千円**
- 災害復旧費 11千円**
- 諸支出金 135,993千円**
- 予備費 5,924千円**

① 平成26年度各種会計予算の全額は、昨年度より6億4628万9千円の増額となりましたが、26年度新たに計画されました情報通信環境整備事業、高齢者生活福祉センター改修整備事業、焼却場整備事業等、知夫村にとつて前向きな予算編成であり適切な編成がされていると思われ、その執行については村長、職員が一体となつて経費節減等財政運営の効率化につとめ、健康で和やかな島、活力ある島への前進を期待いたします。



予算審査
特別委員長
渡部 哲朗

予算審査報告

知夫村行政機構図

村 長 福山 孝行 副村長 小濱 清人 教育長 佐次 雅美

(平成26年4月1日現在)

所属分担	係 名	職 名	氏 名	主な事務分掌
総 務 課		課 長	田 上 俊	課統括事務
	庶 務 係	課 長 補 佐	渡 辺 智 彦	庶務一般、給与、共済、監査
		主 事	中 浦 哲 郎	消防防災、統計、交通安全、情報
	税 務 財 政 係	課 長 補 佐	高 田 英 治	固定税、企画財政
		主 任 主 事	福 山 直 人	民税、企画財政
村 民 福 祉 課		課 長	影 原 知 明	課統括事務、保育所長、福祉事務所長兼務
	福 祉 係	係 長	崎 博 一	福祉事務所関係事務、後期高齢者医療 介護保険、国民年金、障がい者福祉
		課 長 補 佐	山 本 久 美 子	保健師業務、保健衛生、地域包括支援センター業務
	保 健 衛 生 係	主 任	番 谷 美 穂	国保、診療所及び歯科診療所事務、衛生一般
		主 事	佐々木 歩 美	戸籍住民、印鑑登録、保育所事務
建 設 課		課 長	崎 秀 政	課統括事務
	管 理 係	係 長	古 谷 光 教	下水道、環境、廃棄物、建設一般
	建 設 係	係 長	西 谷 太 介	下水道、環境、廃棄物、簡易水道
産 業 課		課 長	川 本 博 樹	課統括事務、農業委員会事務局兼務
		獣 医 師	野 田 浩 正	獣医師業務、農業共済
	農 林 水 産 係	係 長	奥 本 重 勝	農林、水産事務
		主 事	徳 田 久 志	農林、水産事務
観 光 振 興 課		課 長	山 本 英 樹	課統括事務、第三セクター、定住
	観 光 振 興 係	主 任	崎 慎 吾	定住・観光・交流・結婚相談
		地域おこし協力隊	半 田 幸 子	地域おこし業務
		地域おこし協力隊	宮 島 舞	地域おこし業務
内 科 診 療 所		所 長	山 本 長 晴	医師・診療所統括（島前病院からの派遣）
	医 事 係	主 事	下 広 朋 子	医療事務
		看 護 師	永 谷 マ リ	看護師業務
		臨 時 職 員	西 田 弘 子	看護師業務
歯 科 診 療 所		所 長	渡 辺 聡	歯科医師・歯科診療所統括
		嘱 託 職 員	松 下 絹 衣	歯科助手
		嘱 託 職 員	山 根 い づ み	歯科助手
保 育 所		所 長	影 原 知 明	兼務
		保 育 士	田 中 シマ代	保育士業務
		保 育 士	宮 本 厚 子	保育士業務
		保 育 士	隠 木 千 秋	保育士業務
		保 育 士	西 村 清 芳	保育士業務
教 育 委 員 会		教 育 次 長	安 藤 晋 治	委員会統括事務、給食共同調理場長
	総 務 教 育 係	派 遣 指 導 主 事	手 銭 俊 夫	学校教育専門の指導全般
		主 事	村 尾 真 和	庶務一般、学校教育
	生 涯 学 習 係	派 遣 社 会 教 育 主 事	横 田 輝 昭	生涯教育、公民館
		主 事	敷 正 彦	生涯教育、公民館、開発センター、郷土館
給 食 共 同 調 理 場	調 理 員	山 内 康 平	給食共同調理業務・事務	
福 祉 事 務 所		所 長	影 原 知 明	兼務
		査 察 指 導 員	崎 博 一	福祉事務所関係事務兼務
		現 業 員		福祉事務所関係事務兼務
議 会 事 務 局		事 務 局 長	村 尾 達 子	選挙管理委員会事務局兼務、広報
出 納 室		会 計 管 理 者	平 木 伴 佳	出納事務
建 設 技 術 セ ン タ ー	研 修	主 事	口 村 将 太	建設土木関係
隠 岐 ジ オ パ ー ク 推 進 協	派 遣	主 事	浜 本 洋 平	隠岐ジオパーク関係

入学 おめでとう

よく学べ!
しっかり遊べ!

入学式

今年も胸をふくらませた3名の
新一年生が入学してきました。
ドキドキわくわく!!
「よく学べ!そしてしっかり遊べ!」

写真左から
萬 翔瑛くん、奥本勝海くん
山根暁人くん



番谷美月さん

夢を抱いて、新たな旅立ち!

卒業 おめでとう

3月13日、中学校から5名の生徒が
卒業し、新しい道へと進みました。
この素敵な笑顔がこれからも続く事
を祈って、頑張れ!



3月19日小学校の卒業式でした。
1名の卒業生「番谷美月」ちゃん、ちよっぴりさみ
しいけれど、おじいちゃん、おばあちゃん、両親に
囲まれて笑顔の卒業式でした。
中学校に進んでも、しっかりお勉強してください。



写真左から野田正樹くん、
南家岳史くん、並河湧斗くん、
川本和伽さん、安藤優希くん

春3月、知夫村教育委員会・教
育委員長、崎山次朗さんと、社会
教育主事・藤住亨さんが職を退か
れました。
崎山委員長さんは、知夫村の子
供達の将来を見据えての教育を考
え、朝礼前の読書は勿論のこと、
脳内の活性化を図るためソロバン
を見直そうと尽力され、現在小学
校においては暗算活用が必要なソ
ロバンの練習を取り入れておりま
す。また、各種イベント・行事に
は、必ず子供達の雄姿を見に来ら
れました。高齢だということでも勇
退されました。色々とお勉強させて



崎山次朗さん(左)と藤住亨さん(右)

崎山さん
藤住さん

お疲れ様でした、
ありがとうございました。
ございました。

Happy Wedding Hisashi & Miyuki



知夫村で披露宴!!

お地蔵さんが動き出す?

どっかりお地蔵さん!



そりゃ〜!

恒例の錨うち、
しっかり打ち込めよ!



玄関前には
表紙のポートが据わりました
めでたい!!めでたい!!



良かった、良かった、
お地蔵さんも錨も
無事に床の間に
収まりました

知 夫村にお嫁さんがやってきました。宝船ならぬ「隠岐汽船」に乗って、笑顔満点で幸せいっぱい運んできました! 1月、徳田久志君と美由紀さんの結婚披露宴が知夫村で行われ、久方振りに、お地蔵さんが動き出しました。さてさて何処に腰を据えようかな...う〜ん徳田邸か、よからう!ここに決めた!とお地蔵さんがそつと耳打ちしてくれました(笑)



藤住さんは知夫村観光大使に
任命されました

お二人には花束が贈られました



頂き、本当にありがとうございます。
藤住亨さんは、知夫村派遣4年と、長い間知夫村の住民になりきって、社会教育?という聞き慣れない言葉を、身をもって行動する事で、地域社会との関わり、連帯、意識改革等新しい教育の指導を推進して来ました。村民の一員として不動(?)の位置付けになりました。つありましたが、派遣期間が終了したため、残念ながら本土に転勤となりました。4月からは邑南町の中学校で理科の先生として勤められるそうです。長い間ご指導ありがとうございました。また、是非遊びにいらしてください。

観光振興課
だより



待望の
定住促進住宅完成！

来居大谷地区に村民待望の定住促進住宅が完成しました。2棟8戸建てのUIターン者向けの住宅で、1階が1LDKの単身用、2階が2LDKの世帯用の住宅で既に5世帯が入居されました。ゆったりとしたスペースが特徴で、入居者の方からは大変喜んでいただいています。

大好評！
サザエ天丼

隠岐の味として認定された観光の目玉、ご島地グルメ「サザエ天丼」。ホテル支配人、田上潤さんの発案でスタッフ一同が試行錯誤のすえ、完成しました！
どんぶりの中にむき身のサザエの天ぷらが5個、贅沢な味が堪能できます。
帰省時には、是非ご賞味ください。金額は1200円です。

事業実施報告

知夫里島活性化協議会

コミュニティ助成事業について

コミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献事業として、コミュニティ活動備品整備等に助成を行うものです。知夫里島活性化協議会が、平成25年度コミュニティ助成を受け、アルミステージやテントなどイベント用具の整備を行いました。

新しい用具を使い、これから様々なイベントを盛り上げていこうと思います。



どっさり祭り、クリスマス会でも活用しました



知夫村ボランティアセンター

車両整備事業について

知夫村ボランティアセンターは、平成25年度のNHK歳末たすけあい助成を受け、念願の軽トラックを購入することが出来ました。

今後、美化活動等の事業実施に活用していきます。皆様ご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ

知夫村ボランティアセンターでは、平成26年度協力会員を募集いたしております。会員になっていただける方は、ご連絡ください。

また、村内の美化活動等の案内は随時させていただきますので、出来るだけたくさんの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

●知夫村ボランティアセンター TEL8-2270



島を担う

若い力

◎福山雄士君 (22歳・写真右)

小さい頃から海が大好き！
一度は島を離れたものの、やっぱり大自然の中で暮らしたくてUターン。本土と隠岐のチャーター・磯釣りの瀬渡し、全長22.6メートル、総トン数19t、乗客定員47名！名付けて「GRAND・VESSEL」(グランド・ベッセル)「大海原を颯爽と走ります。」

●福友渡船 (080-63303-2509)



入港するGRAND・VESSEL



就航を記念して餅撒きが行われました

戸籍コーナー

(太字は村内在住者・敬称略)

平成26年1月

平成26年3月

結婚

おめでとうございます

中矢 鍊太郎 磯部 衣里 滋賀県 郡

小淵 弘美 福岡県 仁夫

下廣 文子 多沢 仁夫

徳田 久志 多沢 仁夫

川田 美由紀 米子市

隠木 太雅 多沢 仁夫

永井 みなみ 兵庫県 兵庫

平木 天平 鹿兒島県 鹿兒島

永山 由樹 東京都 東京

立花 義寛 仁夫

小西 亜姫 愛知県 古海

森澤 憲久 香奈

前横 香奈

下廣 幸将 仁夫
徳若 朋子 大江

おすすめやかに

お誕生おめでとうございます

崎山 柚奈 保護者 父 宏之

矢田 俊幸 保護者 父 剛俊

宿 龍哉 保護者 父 龍太

やすらかに

心からおくやみ申し上げます

上原 磯子 (86) 仁夫

佐藤 忠男 (86) 仁夫

崎山 ハナ (93) 仁夫

竹川 正人 (64) 多沢

前濱 三丸 (61) 多沢

川邊 ふみよ (90) 多沢

前原 寛 (60) 郡

渡部 光慶 (93) 大江

ふるさと知夫寄附金 (ふるさと納税)のお礼

知夫村の地域福祉の向上や次世代に引き継ぐべき地域資源の保全、活用を図るために、「知夫里」への思いを持つ方や応援して下さい。平成26年度よりふるさと納税に対する感謝の気持ちから、寄附をいただいた皆様に些少ですが、知夫里の特産品をお届けすることにいたしました。今後とも、ふる里「知夫里」を宜しく願っています。(主にサザエ、イワガキ、板ワカメなど、要望に応じてまいります。)

ありがとうございます。 金一封を いただきました。

〈広報郵送料〉

●島根 和雄 (北九州市)

●道川 康正 (埼玉県)

●前田 代子 (北九州市) (敬称略)

募集!**島おこし協力隊員
知夫里島観光協会職員****島おこし協力隊員**

知夫村では、少子高齢化、地域産業の衰退など多くの地域課題を抱えています。

地域を支える力が弱くなっている中で、自然と人が共生する地域社会が将来にわたって持続していくためには、地域の活性化を図る必要があります。知夫村では、農林水産業の担い手支援員を募集しています。志のある方、やる気と元気溢れている方の応募をお待ちしています。

知夫里島観光協会職員

豊かな自然と温かい人情に溢れ、俗化していない島の魅力が認知され、観光客も少しずつ増加してきています。昨年には、隠岐諸島が世界ジオパークの認定となり、こうした知名度の向上に伴う交流人口の増加に対応して、本村においても受け入れ体制や環境整備、観光振興のための特産品開発が望まれています。知夫里島観光協会では、観光協会の臨時職員を募集しています。故郷に帰って活躍したい方、是非、応募をお待ちしています。



詳しくは

知夫村役場観光振興課 TEL08514-8-2211

担当：山本・崎まで

**出郷者の皆さん、
ふる里の夏を楽しみませんか!**

**7月27・28日は
2年に一度の
本祭りです!**

**8月2日は
サザエの
つかみ取りです!**

**8月14日は
花火大会です!**

編集後記

月日は百代の過客にして
行きかふ年も、
また旅人なり：
芭蕉の、奥の細道、の冒頭です。まさに、そのとおり。桜が散り、若葉の候となり、季節は巡り、人は歩き続ける。移りゆくふる里の息吹を少しでもお届けできたと思います。(村尾)

出郷者の皆様へ**光通信整備のお知らせ**

平成26年度に知夫村では光通信が整備されます。それに伴い、空き家等管理されている方で電話やテレビを引き続き利用予定の方は、光電話及び地デジ共聴テレビの切り替えが必要になります。地デジは年間6,000円程度、光電話は現在の基本料金に月々プラス500円程度増額されます。引き続き空き家で使用する場合は、知夫村役場総務課までご連絡ください。

**平成26年
知夫村行事予定表****4月** april

20日 ●お大師さん
26日 ●野だいこん祭り

5月 may

31日 ●スリーデーウオーク
(6月2日まで)

6月 june

6～7日 ●テニス隠岐大会
20日 ●牛の共進会(海士町)
21・22日 ●釣り大会

7月 july

2日 ●牛市
27・28日 ●一宮神社大祭り

8月 august

2日 ●サザエのつかみ取り
13～15日 ●盆
14日 ●花火大会
16日 ●シャララ船
17～22日 ●ふるまい向上合宿
(職場体験合宿)

9月 september

8日 ●皆一踊り(旧暦8月15日)
28日 ●村民体育大会

10月 october

3・4日 ●テニス新人戦(海士)
4・5日 ●町村フェア
(松江市・知夫村も出店)
25・26日 ●釣り大会(予定)
30日 ●島前音楽会

11月 november

1日 ●知夫里島どっさり祭り
5日 ●牛市
28日 ●蛇一巻き

12月 december

13日 ●もちつき大会
21日 ●クリスマスイルミネーション
28日 ●御用納め